

変形性膝関節症の新しい治療機器 「クーリーフ」で、膝の痛みにさようなら！



医療法人社団いずみ会
北星病院
理事長・院長
遠藤 昭

痛み止めを飲んでも膝の痛みが続いている、ヒアルロン酸注射や内服だけではなかなか改善してくれない、手術は避けたいけれど痛みを和らげたい、持病があったり、高齢で人工膝関節手術が難しい…そんなお悩みはありませんか？当院では、変形性膝関節症による慢性的な膝の痛みに対して、最新の治療機器「Coolief（クーリーフ）」を導入しました。

クーリーフは、痛みを伝える膝の感覚神経にラジオ波を流して痛みの信号を抑制する末梢神経ラジオ波焼灼治療を行う機器です。2023年から保険適用となり、保

存療法と手術の中間に位置する新しい選択肢として、1泊2日の入院で受けられます。海外の研究では、約74%の患者さんで痛みが半減し、その効果が平均2年間持続したと報告されています。

局所麻酔で行うため身体への負担も少なく、翌日から日常生活に戻れます。（治療後数時間～数日は一時的に痛みが強まることがあります。）

当院では専門の研修を受けた整形外科専門医の鈴木が診療を担当し、丁寧な事前検査と診断を行った上で治療を実施します。膝の痛みでお困りの方は、まずはお気軽に整形外科外来にご相談ください。